

平成30年度 第1回学校運営協議会議事録

平成30年5月30日（水） 15時00分～17時00分

於校長室

出席者 校長 田尻 由美子
委員 近藤 潤 （摂南大学スポーツ振興センター准教授）
原田 幸三 （地域教育協議会会長）
小林 鶴男 （寝屋川市立第八中学校校長）
保崎 裕子 （本校後援会会長）
巽 かおる （本校PTA会長）
田中 實 （本校キャリア教育支援員）
事務局 池田 弘 教頭
香川 義明 事務長
岡田 伸治 首席
服部 有晋 首席

司会：教頭

1. 学校長挨拶

- ・学校協議会から学校運営協議会への変更について
- ・近況報告（体育祭、定期考査、授業）より
（資料確認）

- ・学校運営協議会次第
- ・学校運営協議会実施要綱、大阪府学校運営協議会の運営に関する要綱
- ・平成29年度学校経営計画及び学校評価
- ・平成30年度学校経営計画及び学校評価
- ・2018年度進路の手引き
- ・年間行事予定表
- ・西寝屋川高校版 授業改革に関する資料

2. 今年度の学校運営協議会について

- ・出席者紹介（各委員の挨拶後、事務局、出席者挨拶）

出席者	大波多	知佳子	進路指導主事
	伊勢	和樹	教諭
	門野	洸平	教諭

〈議事〉

- ・会長、副会長選出 会長 近藤 委員（互選）※以下、会長が進行
副会長 原田 委員（互選）

（学校運営協議会への変更より会長、副会長の選出が必要となる）

- ・保護者からの意見書は今回はなし

(1) 進路指導主事より昨年度の進路状況、今年度の就職環境について説明

進路指導主事：「36期生の進学先の特徴として例年に比べ専門学校を選択した生徒が例年より多かった。また看護を目指し頑張った生徒も多かった。就職も好調で新規求人先での採用や、1社で5名など1企業において多くの生徒を採用いただくことも昨年度の特徴であった」
「今年の就職指導として『ネヤガワ職業体験事業 in 摂南大学 寝屋川キャンパス』に参加させている」（その模様をケーブルテレビのニュースより視聴いただいた）
「この『ネヤガワ職業体験事業』への参加者約120名中90名が本校生徒であった」

(2) 平成29年度、30年度学校経営計画について校長より説明

校長：「生徒にどのような力を身につけさせるか『わかる授業、充実した授業』を第一に据え、授業改革を行っている。（その例としてパッケージ研修やICTの積極的活用について説明）」

提示資料：西寝屋川版Can-Do-List（以降CDLと表記）、全教科横断型授業一覧表

会長：「CDLは生徒へ配布、開示するのか？」

校長：「CDLは各教科の中での共有化を目的としたもので、CDLそのものの配布は考えていない」

会長：「到達目標が示され、何を学んだらよいかポイントが絞られており生徒も分かりやすいシラバスを見る生徒は大学生でも少ないが、このような形のものであれば生徒も教師が意図するところがわかるので生徒への開示、配布を希望する」

D委員：「ポイントと到達目標が明確である、狙いがどこなのか、どんな力が必要なのか理解できる」

A委員：「中学校では3年間で具体的にどういう力を身につけさせるのかを教科ごとに決めている。」

D委員：「今年3年生の面接指導をお手伝いして1回目にも関わらずシッカリした受け答えの出来る生徒が多く、そのような生徒の中にはアルバイトをしている生徒が少なかった。アルバイトをしない生徒が多くなると生徒の様子も変わってくるのではないかと。またアルバイトはクラブ活動を阻害させてしまう原因にもなる」

A委員：「中学生の高校選択の1つの指標に部活動がある。高校に進学して『これをやりたい』と思えるクラブ活動は学校の魅力」

副会長：「部活に参加したい生徒のために参加できる場所の用意が望まれる」

D委員：「中学でのクラブ活動状況などの情報を高校と連携はできないか？」

A委員：「全生徒でなくともかまわないので、一生懸命取り組んだ生徒の情報は高校に伝えたい」

会長：「部活動は高校生活でしか経験できないもので、しなくてよいアルバイトはしないほうがよい」

C委員：「バイトと勉強を両立している生徒も多い。バイトによる社会勉強の面、自分でお金を稼ぐことで金銭感覚を養う側面もあり、反対ではなく上手く両立できることを考えさせるのがよいのではないかと」

A委員：「要は程度の問題」

D委員：「この程度を考えることがキャリア教育につながる」

会長：「主体性を育てる側面もある」

A委員：「化粧の指導をされていますか？以前よりナチュラルよりになっている印象で、また登下校時の様子が良くなっている感じがする」

副会長：「交差点でのマナーも良くなってきているし、遅刻する時間には生徒を見かけない」

D委員：「学校経営計画の中に『読書の促進』が記載されているのでCDLの中でも課題図書のように反映されてはどうか？」

3. 学校長閉会挨拶

次回予定確認10月末第2回開催予定
閉会

(以上)